

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)DPL広島五日市港新築工事			■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.30	-	-	2.7
1 音環境		2.1	0.15	-	-	2.1
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		1.8	0.40	-	-	
1 2 開口部遮音性能		1.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度	事務室500lx以上	4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.1	0.25	-	-	3.1
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上	4.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0
1 機能性		2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高2.70m、窓設置	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	執務スペースの12%以上のリフレッシュスペース+自販機コーナーの設置	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の採用	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
	3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-		3.6
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		階高6.0m以上 壁長さ比率0.04	5.0	0.30	-	-		
	2 空間の形状・自由さ			5.0	0.60	3.0	-		
				5.0	0.40	3.0	-		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-		
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-		
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-		2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7		
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制			グラスウール、網入りガラスの採用		5.0	0.01	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -		5.0	0.62	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			LED照明等の、高効率設備機器の採用		5.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)					-	-	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-			
集合住宅の評価					-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水型水栓に加え、節水型便器の採用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシュラン(路盤材)		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			LGS下地の採用、OAフロア採用		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			防水工事のプライマー		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率=71%		4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮					3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			ガス設備工事無し		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車施設設置届出、荷捌き用車両の駐車施設、出入り口2箇所	4.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		光害対策がガイドラインのチェックリストの一部、配慮事項の過半を満たす	4.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	